

「IRONMAN 70.3Xiamen(厦門)」 レースレポート

【開催地：中国福建省厦門 開催日：2017年11月12日(日)】

TriathlonTeam "Big Lake" 代表 室谷浩二選手

レース：スイム 1.9km バイク 90km ラン 21km 合計約 113km

天候：曇り時々晴れ

総合タイム：5時間5分29秒

エイジ (55-59) 6位 *2018 ハワイ世界選手権 (KONA) 獲得 (詳細はレポートに記載)

中国福建省厦門で開催されたアイアンマン 70.3Xiamen に出場して参りました。
早速レポートに入参ります。

今年2度(4月と6月)に渡り心臓手術を受け、その後リハビリを経て練習を重ねつつようやく復帰第一線目の舞台に立つことが出来ました。
正直、練習を再開し僅か3か月でレースに復帰出来るとは夢にも思いませんでした。

これも一重に家族を始め全国のトラ仲間、チームメイト、友人、スポンサー各社、そして医療スタッフの方々の支えがあったからこそ実現出来たと感謝しています。

このレースに出場を決めた理由はただひとつ。
70.3 マイル (約 113km) のレースでハワイ世界選手権のロットが 30 用意されていたことです。
幸いにも復帰第一戦目としては適度な距離だった事、しかも日本からも近く関西から直行便があったことは好条件でした。

現地にはレース3日前から入り、外食と部屋食を半々にしてコンディションを整え、レース当日プロカテゴリーに続き午前7時にスタートしていきま





スイムは一旦沖に出た後、海岸と並行に泳ぐワンウェイのセッティングでした。その理由は潮流を考慮したもので 20m/min 近い流れがあったと思います。上陸後時計を見て驚きました。練習でも出せないタイム (26 分台) で 1.9 km を泳ぎ切っていたのです。しかしこの後レースの最大の難関が待っていました。その難関とはトランジションエリアが約 600m もあった事です。必死に走り続けようやく自分のバイクをラックから外し、得意のバイクに入っていきます。



まずは心拍を落ち着かせながらフォームを意識し、前半向かい風の中順調に距離を積んでいきます。バイクで最も勾配があるのは陸橋だけでした。それ以外はハワイ世界選手権と同様緩やかなアップダウンが続くコースでした。

中盤までは Ave37km/h だったのが、後半は大腿部の痙攣が少しずつ起き始めペースダウンを余儀なくされてしまいました。何とかエイジ 2 位でバイクを終えます。

しかしここでアクシデントが起こります。

バイクをラックにかけ 600m 先のテントを目指そうとした瞬間、両足の大腿部に痙攣が起こり身動きひとつで出来ません。暫く治まらず苦しみましたが、1 分程で落ち着きランをスタートして行きました。最初の 1km は痙攣が起らない様慎重に走ります。1 km のラップは 4 分 45 秒。

痙攣も落ち着いてきたのでそこからペースを上げました。4 分 30 秒/km ペースまで上げる事が出来たので、このままいけると思ったのも束の間、またもや痙攣が襲ってきました。

やはり、手術前後の 3 か月間で相当筋力が低下していたのでしょう。全盛期の頃と変わらないスピードでバイクを走り続けた代償は大きかったです。

ここからは我慢のレース。

歩かずにはいられない時もありましたが、15km 過ぎた辺りからようやく本来の走りを取り戻し、ゴールまでは力を振り絞りました。

そして復帰第一戦目のレースを無事にゴールする事が出来ました。

タイムは5時間5分29秒。

自分してみれば復帰第一戦としては上出来のレースだったと思います。

3月のニュージーランド以降、4カ月間不整脈と戦い続けてきた訳ですが、正直凹みましたし不安も消える事はありませんでした。

しかし必ず“復活して見せる”という強い思いが勝っていたからこそ、今回のレースに繋がったのだと思います。カテゴリー順位は6位とKONAのスロットには届かなかったのですが、実はミラクルが起きていたのです。

9月開催予定だった重慶大会が急遽中止となり、用意されていたKONA30スロットは、このレースにエントリーしていた選手の各カテゴリーに最低1個ずつ配分し、選考(ランキング最上位の選手)に2018のKONAを与えるというものでした。

(当初は抽選と記載されていたが)

結果、私は55-59のカテゴリーで選出され、2018KONAの切符を手に入れる事が出来たのです。これまでの実績(5年連続KONA出場、2016世界ランキング(22位))が功を奏した結果となった訳です。

これまで幾度となく励ましてくださった皆さんに感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

来年ハワイアイアンマンは40回の記念大会となります。

その記念大会に出場できる喜びを胸に、しっかりと練習を重ねて参りたいと思います。

今回使用したアイテムは以下の通りです。

顔面はアンダーベース+サンプロテクト 50+を使用その他の部位はサンプロテクト 50+を露出部分に全て使用。

レース後はクレンジングで除去。

全く日焼けする事なくレースを終える事が出来ました。

(レースデー以外も外出する際は露出部分に使用)

復帰第一戦目となった今回のレースを、最後まで諦めることなく走破出来たのはAthleteXのお陰でもあります。アミックグループ様本当にありがとうございました。

そして引き続きご支援の程宜しくお願い致します。





□ スポンサー、サプライヤー 敬称略

Panasonic

バイク：CEEPO KATANA2016 (HINO サイクル)

タイヤ：Panaracer RACEA (Panaracer)

レースウェア：半袖ワンピース (PSI)

シューズ：On クラウド X (On ジャパン)

アイウェア：OAKLEY RADAR ROCK レンズ IceIridium(アイスイリジウム) (金栄堂)

時計：ガーミン 935XTJ (サクセススタイル)

日焼け止め：AthleteX (株式会社アミックグループ)

シューレース：Greepier Laces (株式会社 SUNNY FISH)

補給食：PowerBar TOPSPEED チャレンジャー (パワースポーツ)

ここでジョミ (大雄産業) カプサツ (スタミナ・スポーツ) ORGANIQ (TUKURU)

ソックス：FOOTMAX (スタイルバイク)

□遠征期間中の補助食品、サプリメント

健康補助食品：Astavita (アスタリール株式会社)

プロテイン：TRAN (ネットプランニング)

PowerBar 【グミ プロテインプラス】 (パワースポーツ)

□遠征期間中のグッズ関連

イオンドクター (ジェイ・エス)

ロングソックス (2XU)

アパレル (On ジャパン) (2XU)

島ぞうり (彫人)

遠近両用サングラス：オークリー-OAKLEY RADAR ROCK (金栄堂)